

報 告 会

- 1) 上島さんの報告
- 2) 三浦さんの報告
- 3) 東原さんの報告
- 4) 妹尾さんの報告
- 5) 報告を聞いた在学生の感想



上島さんの報告



1



2



3



4



5



6

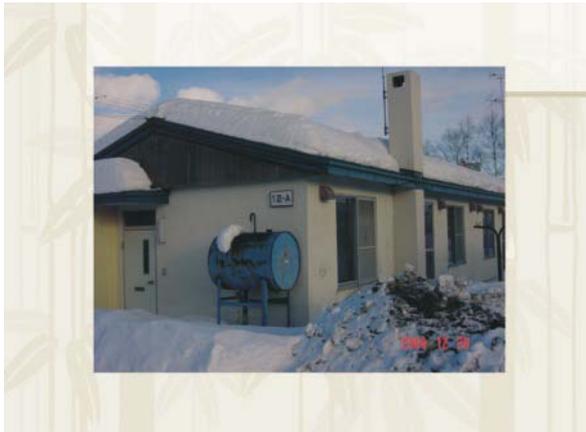


7

鹿追での生活

- ・報酬は月額8万5千円+ガソリン代
- ・町営住宅の家賃
月額9100円+家具購入費等5900円
=15000円/戸
- ・出勤には車を提供して頂き、月額1万円支払う
- ・車で1分の所にスーパー、30分で音更、1時間で帯広

8



9



10



11



12

経営概要－①

- ❖所在地 河東郡鹿追町瓜幕
- ❖労働力 浅野澄夫さん
静江さん
光彦さん
常雇 稲子澄江さん
東本麻美さん

13

経営概要－②

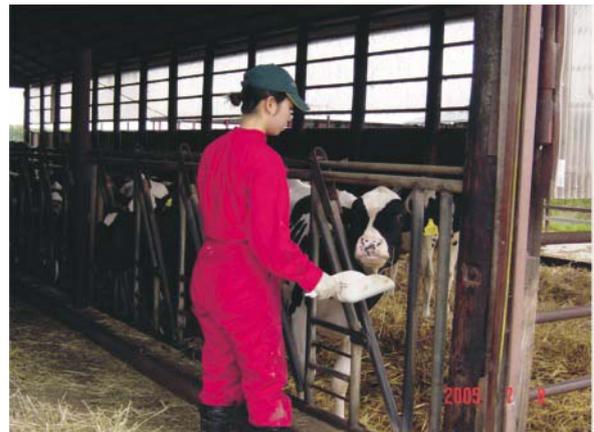
経産牛	110頭
年間出荷乳量	1,020t
育成牛	95頭

14

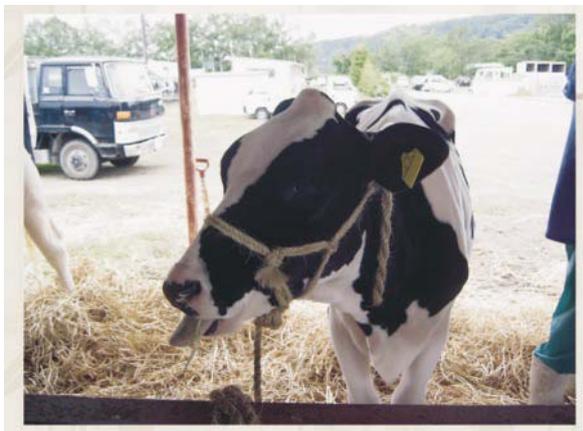
経営概要－③

耕地面積	54,7ha
栽培草種	チモシー アルファルファ シロクローバ
粗飼料給与	牧草+とうもろこし サイレージ 通年型

15



16



17



18

三浦さんの報告

実践酪農学実習に行って…



酪農学科2年 20401248
三浦 裕美

1

●実習先

道東 浜中町(釧路管内)
二瓶昭牧場

●実習期間

4月20日～8月19日
(約4ヶ月間)



2

●飼育頭数

経産牛 46頭

育成牛 33頭

肉牛 12頭

●生産性

年間出荷乳量 413.6t

経産牛一頭乳量 8616kg

3



4



5

トレーラーハウス

中は広くてとてもきれい!



6



7



8



9

1日の生活(普段)

4:30	起床
5:00~ 5:30	朝食
5:45~11:00	午前作業
11:30~13:00	昼食・おしゃべり
13:00~15:00	自由時間(勉強・休養)
15:00~19:00	午後作業
19:00~20:30	夕食・おしゃべり・質問など
20:30~	自由時間(勉強・お風呂・休養)

10



11

1日の生活(集中講義の日)

4:30	起床
5:00~ 5:30	朝食
5:45~ 8:15	午前作業(搾乳まで)
9:00~12:10	集中講義
12:10~13:00	昼食
13:00~15:00	集中講義
15:30~19:00	午後作業
19:00~20:30	夕食・おしゃべり・質問など
20:30~	自由時間(勉強・お風呂・休養)

12



13



14



15



16

先生とのやりとり・勉強について

- ・2週間に1回の巡回
- ・月に1~2回の集中講義
- ・メールなどで届くレポート課題
- ・実験、調査



17

実践酪農学実習に行っていた点

- ・ある程度長い期間で実習が行える
- ・少人数授業
- ・実際に作業をしながら学校の勉強をすることで、理解がしやすい
- ・先生に相談できる安心感がある
- ・町内の方に仲良くしてもらえる



18

実践酪農学実習に行って困った点

- ・買い物などに行く移動手段
- ・インターネットがうまくいかなかったとき
- ・直接先生に質問したいときにできない
- ・牛の皮膚病がうつったこと
- ・といたい授業、資格などがとれなくなることもある
- ・学校にいないときの対処がうまくされていない



19



20



21



22



23



24

東原さんの報告

実践酪農学コースを選んで

酪農学科4年 東原 順一

1

実践酪農学コースを選んだ理由

- ・親との約束
高校卒業して大学行く条件に4年後実家に帰る
→でも実習したい、ほかの牧場で仕事したい
- ・授業受けるより現場のほうが楽そう
→農業高校出身だったから勉強苦手

2

実践酪農で実習した牧場

2年前期	鹿追町 伊藤牧場
3年後期	浜中町 永洞牧場 浜中町 二瓶牧場(1週間)

3

伊藤牧場の経営概要(当時)

飼養総頭数	420頭		
経産牛	220頭	草地	77ha
育成牛	200頭	飼料畑	21ha
労働人数	4人(+自分)		
年間出荷乳量	1970t	乳成分	
個体乳量	8700kg	F	4.38%
		P	3.17%
		SNF	8.71%

4

伊藤牧場の経営概要(当時)

搾乳牛舎	フリーストール194床
パーラー	10Wヘリンボーン
乾乳・未經産牛舎	片側フリーバーン・フリーストール
育成牛舎	旧牛舎改造ベン (哺乳ロボット導入済)

5

永洞牧場の経営概要(当時)

飼養総頭数	180頭		
経産牛	100頭	草地	80ha?
育成牛	80頭		
労働人数	3人(+自分)		
年間出荷乳量	750t	乳成分	
個体乳量	7800kg	F	? ??%
		P	? ??%
		SNF	? ??%

6

永洞牧場の経営概要(当時)

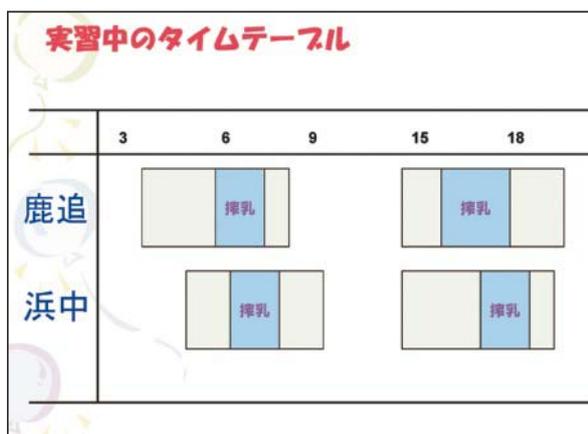
搾乳牛舎 ミルカー 乾乳・未経産牛舎 育成牛舎	つなぎ飼いで頭式100頭 8ユニット自動離脱付 搾乳牛と同居 理ハウスのフリーストール(パドック付)
----------------------------------	---

7

実習先の比較

	搾乳牛	哺育牛	育成牛	乾乳牛
鹿追	フリーストール	カーハッチ 哺乳ロボット	フリーストール 委託	フリーストール
浜中	つなぎ (スタンション)	カーハッチ	フリーストール 委託	つなぎ (スタンション)

8



9

実習先の特徴

	経営形態	自給飼料基盤	スタンス
鹿追	企業	畑地型	高生産追求
浜中	個人	草地型	適量生産維持

10

実習先地域の立地条件

	土地面積	飼料作物	副産物の利用
鹿追	制約多少あり	デントコーン 作付け可	可
浜中	結構余裕あり	デントコーン 作付け不可	難

11

実習行ってよかったこと

- ・2つの酪農家でそれぞれ4ヶ月仕事できたこと
- ・実習中に、仕事以外にも地域の人たちとの交流できたこと
- ・十勝と根釧の全く逆な経営を両方体験できたこと

12

実習行って後悔したこと

- ・1年生のうちに教養をがんばっておけばよかった
- ・2年後期と3年前期にがんばらないと4年になって大変
- ・もっと大学生らしい生活する期間が長くてよかったな

13

これからの自分

- ・4月から十勝の陸別町で就農
- ・就農してからも実践酪農学コースに貢献していきたい

14



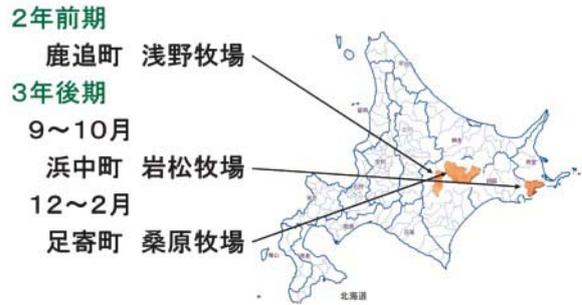
15

妹尾さんの報告



1

実習場所



2

鹿追 一日の流れ



3



4



5



6



7



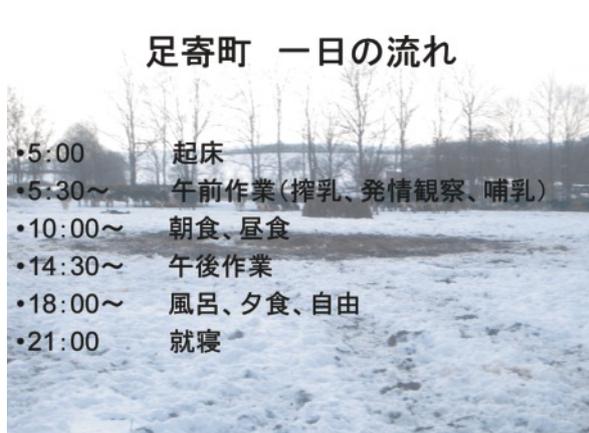
8



9



10



11



12



13



14



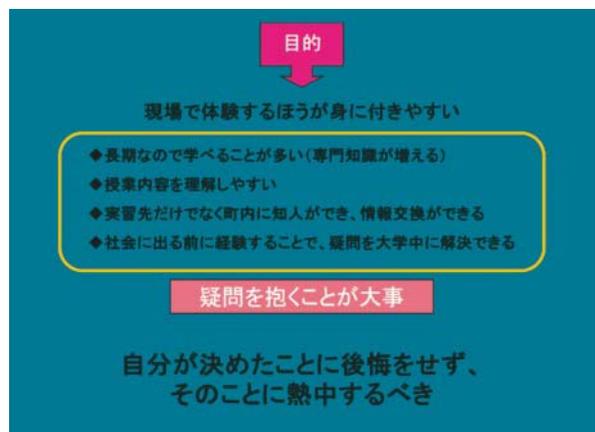
15



16



17



18

報告を聞いた在学生の感想

感想 1

まず、一番に感じたのは「行けばよかった」という思いです。授業をとるかとらないかの時は、ただ単純にそんな長期間もする気はないと思っていたのですが、夏休み中の実習を経験して、酪農という職業に深く興味を持った私は、とても後悔しました。発表してくれた5人の方たちがとても素晴らしく見えてしまいました。自分は何をしていたんだろう、という思いもありました。

私には20日間の実習が、すごく充実していて楽しくやりがいのあるものだったので、安易にそう思うのかもしれませんが、将来、そのような仕事に就くことが目標になった今、長期の実習はとても重要なことだと思います。自分もその経験をしたいと、純粹に感じました。毎日の授業も、もっと大事にしようと思いました。

今回の発表は私にとって、とても意味のある、考えさせてくれるものでした。みなさんありがとうございました。

感想 2

5人の人達の報告を聞いて、どの人の報告からも共通して感じたことは、「夢に向かって前向きに生きる」ということです。4ヶ月もいると、いろんな意味でいやな部分が見えてくるとみんな言っていました。それで諦めてしまうのではなくこうしてやりとげて帰って来たということがすごいと思いました。

私自身、将来何をしたいのかがまだあやふやです。今回の報告会を聞いて、自分と同じ学年の人達の夢に積極的な姿勢に励まされた気がします。自分自身について考えるきっかけになり、今、自分のやりたいことが少しずつですが見えてきたようです。

感想 3

農業をするにあたって大切なのは学よりも実践なんだと思う。「学」が大切でないということではないが、個人的な畜産のイメージは「机上の理論がすべてではない」ということ。例えば、テストで発情の牛の特徴を書かせたら100点満点をとるような人が、現場で発情の牛を見つけろといわれて見つけれないケースは大変多いと思う。

酪農で扱うものは機械ではない。生き物なのだから勉強するだけでなく、肌で感じる事が大切だと思う。今回の実践酪農学で農家に行った5人も、現場のキビしさ、楽しさ等色々な面が知れたと思う。

現場にふれながら勉強していくのはとても良いことだと思うし、これからも頑張っていって欲しいと思いますし、僕ももっと頑張ろうと思いました。

感想 4

今回、実践酪農学履修の5人の話を聞いて、5人から共通して感じ取れたのは「私たちの4ヶ月はあなた達の3週間とは全然違う」ということだった。悔しいと正直、思った。が、その通りだとも思った。彼らの「酪農」と僕の「酪農」とでは全く濃さが違う。まずそのことがショックだった。次に「4ヶ月の実習中に人生についていろいろ考えた」というような発言を聞いたのも、なかなか胸に残った。普段のキャンパスライフでは将来について深く考えることはなかなかない。自分も20日間の実習で徐々にいろいろと考えた。それが4ヶ月だというのだから、本当に多くの事を自分で考え、決断したのだと思う。5人を素直に尊敬するし、また自分も考えるべき多くの事を、日々忘れずに考えていきたい。

感想 5

報告会を聞いてみて、実習内容はきつそうだった。よっぽど酪農に対する思いが強くなかったら4ヶ月は乗り越えられなかったと思う。山根や長恒は仲が良いので思ったのだが、実習から帰ってきて格段にたくましくなっていた。このようなコースを設立した学校側の真剣さも理解できた。しかし、もっとサポートが必要だと思う。彼らは帰ってきて、いろいろと苦労しているみたいだから学校側は、コレを次の実習に行く際に生かしてほしい。第一期生の大きな役割は実践酪農学をもっと世間や後輩に浸透させ、伝えていく事だと思う。彼らの次の実習もうまくいく様に応援したい。

感想 6

僕も実際、実習に行き酪農のつらさを思い知った。たった20日間くらいだったのに、つらかったと言っている自分が恥ずかしくなった。この5人はぜひとも酪農をやって欲しいし、牛乳をいっぱい出荷してほしいです。

感想 7

私も夏休みに酪農実習に行ったので発表していた人達の苦勞、仕事の大変さが伝わってきた。私が体験したものとは比べ物にならないだろうが。一番印象に残ったのは酪農実習に行った先で私達と同じ様な授業を受けていた事。牧場の仕事をしながら授業を受けるのは忙しい。勉強だけの私達と比べると時間は足りなかっただろう。長い実習期間、両立を頑張った5人は素晴らしいと思う。

また、羨ましい点もあった。三浦さんは世話になっていた家族と本当の絆を結んでいた様に見えた。私が行った牧場は実習生を従業員と同じ様に扱う所で、仕事は理解し、実践できる様になった。しかし、従業員の枠は超えられなかった。本当の親子の様な三浦さんを見ていいなあと感じた。

私はまだ自分の将来やりたい事を見つけ出せないでいる。今日発表してくれた人みたいに早く自分のやりたい事を見つけたいと感じた。

感想 8

私はこの5名の方々に称賛の拍手をまず送りたいと思う。ただでさえ、キツイ酪農生活を勉強しながら4ヶ月も過ごしてきたことはスゴイことである。私の友達（庄司 睦）が実習していた鹿追町に遊びに行ったことがあるのだが本人達は酪農生活を大いに楽しんでたし学ぶことも多いと言っていた。やはり、机の上では学べない現場の何かがあるということをその時感じた。現場で実習するということは人生にプラスに働くと思う。実習は一種のインターンであり、社会人としての自分の立場というものを考えながら働くべきだと思う。実習（3週間の委託実習）中、わがままを言って実習先の家族を困らせたという話をちらほら聞いたのだが、そういう人は社会に出てからも同じようなことをするのだろうか。私達はもう中学生でも高校生でもないのだということを考えてほしい。その点でこの5人は社会人としての自分というものを私達なんかよりもずっと分かっているのだと感じた。

感想 9

今日の話聞いて自分も20日間実習を積んできたが、4ヶ月実習してきた人の話はとても説得力があった。「自分が本当に酪農をやりたいのかを毎日考えていた」という山根くんの言葉は、今の自分が一番向き合うのを避けていた「将来」についてを真剣に考えて日々自分と闘っていたことを感じた。本当に実践酪農に行った人は自信に満ちあふれて、自分より大きく感じた。自分もこの人達に負けていけないと強く思った。

感想 10

今回、同じ2年生の人の話を聞けてすごく良かった。私自身、20日間の実習はすごく辛い20日間だったので4ヶ月間も実習をしてきた人は何を学び、何を感じたのか、すごく興味を持った。そして、話を聞いて、みんなを見て思ったのは、みんなすごく生き生きしていると思った。けっして作業もラクとは言えないと思うし、慣れない生活で一人新しい生活を始めていくのは大変だろうと思う。それでも実習をしてよかったと言っている人は、私に良い刺激を与えてくれたと思う。

3年になってから決めるゼミ室のことや、就職のことについて考えれば考えるほど焦る一方だけれども、今回の5人のように充実した毎日を送りたいと思った。経験と失敗があって、いろんなことが見えてくるんだ、と今回改めて教わった。

感想 11

今回の報告会、良かったです。この5人のうちに友人がいて、激励のメールを何回か送り、風邪ひいたとか、朝が早いという返事が来て大変そうでした。しかし、後期に再会すると、見違えるようにイキイキとし、発表中での話しぶりからも熱心に取り組んだ様子が伺え、感心しました。

私の3週間という短い実習期間でも苦労と失敗の連続でしたが、4ヶ月という長い期間を乗り越えた5人は、立派だと思います。5人に拍手です。その友人のイキイキとした姿には、元気をもらいました。私も楽しく大学生活を送り、夢に向かって頑張っていこうと痛感させられた報告会でした。

